

# 静岡県西部地域しんきん経済研究所トピックス

2007年12月25日

## 静岡県西部地域中小企業「平成20年の経営見通し」調査結果について

—先行き不透明感強まる—

静岡県西部地域しんきん経済研究所（理事長 山本長行、以下県西部しんきん経済研究所）は、静岡県西部地域の中小企業を対象に行った「平成20年の経営見通し調査」をまとめましたのでご案内します。

### 1. 調査概要

調査対象 遠州信用金庫、浜松信用金庫の取引先 636 社

調査方法 調査票による面接聴取法

調査時期 平成19年12月3～7日

回収状況 回収数 613 社（回収率 96.4%）

### 2. 調査結果（詳細は別添資料をご参照ください）

#### ①平成20年の日本の景気について

約6割の中小企業が景気は悪くなると予測しており、先行きに対して悲観的な見方が急速に高まっています。

#### ②平成20年の自社の業況について

平成20年の自社の業況については、「良い」=14.0%、「普通」=40.0%、「悪い」=46.0%となり、「悪い」が「良い」を32.0ポイント上回りました。景気の先行き不透明感の増大に伴い、自社の業況に対しても明るい見通しが描けない企業が増加している。

#### ③平成20年の自社の売上見通しについて

全体では「増加」を見込む企業が多いものの、原材料が高騰し収益を圧迫しており、業種によっては、厳しい状況が続きます。

#### ④構造改革路線がもたらした変化について

構造改革路線のプラス効果や成果を実感している企業は少なく、多くの中小企業が「大企業との格差」「業種による格差」を感じています。

本件の調査結果につきましては、2008年1月下旬発行予定の「景況レポート」に掲載予定です。

### 本件のお問い合わせ先

432-8501 浜松市中区東伊場2-7-1 浜松商工会議所会館3階

静岡県西部地域しんきん経済研究所 間瀬

TEL・FAX 053-452-1510